

# 桜井市議会議員 やすおき つちや 靖起



活動報告  
第55号

連絡先 633-0064 桜井市戒重57 電話0744・43・9288 FAX0744・43・9295  
メール tuchiya@seikatubunka.jp

訪日観光客増へ

## 県の7倍増に対し、桜井市は微増 海外PRの重要性提案

2020年のオリンピック開催を前に、海外からの観光客(インバウンド)の増加が見込まれています。奈良県へ訪れる外国人観光客数は、直近の5年間で7倍にも増加しています。桜井市を含む中南和への訪問は微増にとどまっています。土家靖起は市議会6月定例会でインバウンド施策に向け、桜井市の魅力を海外へ向けて効果的にPRしていくことの重要性を提案しました。また総合的戦略を立てる必要性を指摘しました。

### 土家

近年、訪日外国人旅行者数は拡大を遂げ、観光はわが国を支える産業へと成長している。奈良県においても「泊まる奈良」「巡る奈良」「活かす奈良」の実現に向け、官民一体で取り組んでいくために観光戦略20年ビジョンの策定が進められている。

奈良公園辺りを見ると多くの外国人を見かける一方、中南和ではほとんど外国人を見かけない。桜井市へ外国人がどれくらい訪ねているのか、どこからの訪問が多いのか聞きたい。また桜井市における観光誘客(インバウンド)について、市長の考えを聞きたい。

### 市長

県の北部は平日にもかかわらず、「インバウンド」で溢れ返っている状況だが、桜井市を含む中南和地域では残念ながらインバウンドの方々はまだ少ないという現状がある。桜井市としてこの状況を打開する

ため、平成28年度に外国人旅行者の桜井市に対する印象の調査や、多言語によるパンフレット、動画の作成を行った。29年度では、これらの製作物や情報を活用し、さまざまな面から桜井市に関する情報を発信することでインバウンドの取り組みについて促進を図っている。

さらに、東京で行われる外国の旅行代理店との旅行商品の商談会に市、観光協会、商工会が合同で参加し、直接商談を実施している。またこれらの取り組みに合わせて、案内看板の多言語化や観光トイレのインバウンド対策として洋式化への改修について検討を行っている。

### まちづくり部長

桜井市を訪れた外国人観光客については統計をとっていないので把握できていない。桜井駅構内に設置している観光案内所を利用した外国人観光客の件数は集計しており、その数字では平成29年度に142件になっている。国についてはアメリカからの訪問が一番多い。

### 土家

もう少し予算を使ってでも、海外向けのサイトに掲載するなど、何か海外に対して情報を発信する方法、仕掛けができないか、それが必要ではないかと思う。この点について市長の戦略を聞

きたい。

### 市長

多言語のパンフレットを関西国際空港や主要駅といった外国人の手に取りやすい場所に置いたり、議員ご指摘のように動画を外国人向け大手観光サイトなどに掲載する取り組みを行っている。また外国人観光客が広く利用するインターネットメディアに対して桜井

市の訪問を促すための記事の掲載を行っている。引き続きインバウンド対策として海外に向けての情報発信を行っていきたく考えている。

### 土家

知事のお話では、奈良県は高いポテンシャルを持ち、常に新たな魅力を提供することが大事で、努力が足りていないと言われているが、奈良県の観光戦略に合わせた桜井市の戦略を持つべきではないかと考える。桜井市では取り組みとして、何が足りていないか、また何が必要か、この点について市長に聞きたい。

### 市長

旅行代理店の商談の中では「知名度の低さ」が意見として出ている。桜井市は歴史文化の発祥の地、国のまほろばの地で、国内外に誇れる寺社仏閣など、歴史文化遺産が多数あるにもかかわらず、それらが桜井市にあるということをも十分に認識されていない。課題は山積みだが、桜井市の情報発信を続けていくことが重要と考えている。

### 土家

市内には非常に魅力的な資産があり、それを活かして見送られたが、インバウンド戦略として日本遺産はとも有効ではないか。これについて、来年度の申請はどのように考えているのか。

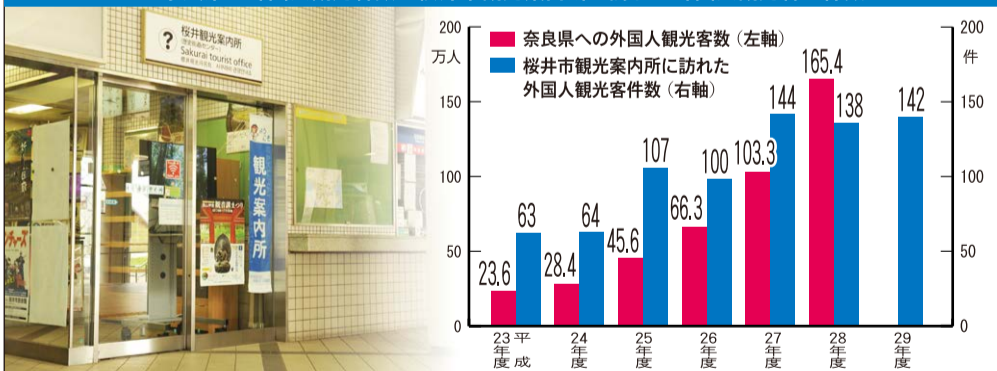
### 市長

日本遺産はインバウンド戦略に非常に有効と考えている。7月から文化庁との協議が始まる。前回の申請時に明確なストーリーを描けなかったことを踏まえ、天理市との連携の枠組みで31年度の認定を目指していきたい。

### 土家

ぜひ申請に向けて最善の努力をしてもらいたい。

奈良県の外国人観光客数と桜井市観光案内所に訪れた外国人観光客の件数



# 人口減少に歯止めを

## 増加する空き家 市にさらなる利活用求める

市議会6月定例会ではさらに減少し続ける人口の中、桜井市の行政運営を継続していくため、移住・定住に積極的な施策を行うっていくことの必要性を説き、市内に増加している空き家の利活用について、力を入れていくことを求めました。

**土家** 桜井市の人口はピーク時に約6万2000人あったものの、直近では5万8000人を切る状況になっており、人口減少の波は確実に押し寄せていると言っても過言ではない。

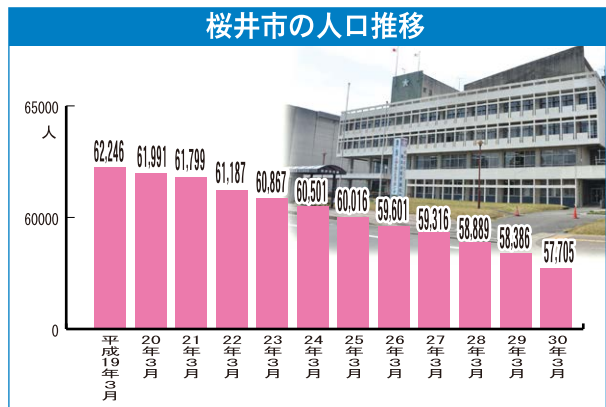
桜井市ではこれまで総合計画を最上位計画とし、総合戦略や行財政改革とも連携を図りつつ、行革経営に当たってきたところだが、今後、税収の減少に対して支出は増え続けることが予想され、より一層総合計画と総合戦略、行財政改革が三位一体となり、メリハリのある行政運営を行うっていく必要がある。

さらに大きな人口減少が予測される中、即効性のある有効な対策として、市長はどんな考えを持っているか。

**市長** 桜井市では、総合戦略において2040年の目標人口を5万1000人として、「日本一住みたいまち桜井」の実現を目指し、地方創生の取り組みを進めている。

桜井市においてこの地方創生を実現するため、総合戦略では地域ごとの特徴やそれに根差した魅力を最大限に活かしたまちづくりを重点プロジェクトとして、奈良県まちづくり連携協定における拠点まちづくり推進を県と連携しながら行っている。

桜井駅前ではホテル誘致が実現し、また、まちづくり会社による空き家を活用した事業も実施されている。このように、町の活性化の取り組みによる成果は、少しずつではあるが始めている。



桜井市空き家バンクのホームページでは市内の空き家情報を掲載

人口減少対策については、いまだ効果が出るまでには至っていないが、現在行っている取り組みをさらに進めることで、目に見える効果を上げることができるよう、関連施策、事業の実施を進めていく。

**土家** 人口を増やすことは大切だが、やはり、短期的で即効性のある流入人口を増やすための施策が必要ではないかと考える。その一つが空き家の利活用ではないか。

人口減少によって使われなくなってきた空き家だが、それを活用することで有効な資源になる。特に移住者、定住希望者への低家賃での紹介、店の起業支援、マッチングなどにより、人口減少対策にもつながる。空き家の利活用についてどのように取り組んでいるか、また今後どのような施策を考えているか聞きたい。

**市民生活部長** 管理不全空き家の増加を防ぐためにも空き家の利活用は進め

# 児童公園の遊具の老朽化 早急な修繕、整備を

市内に40カ所ある児童公園の遊具の老朽化が進み、使用不可の措置が取られているところも見受けられます。市議会6月定例会では、これらの遊具について、安全のための早急な修繕、整備を求めました。

**土家** 公園の遊具は子どもたちの生育過程の中、重要な役割を果たしている。老朽化による故障など、使用不可の措置のまま放置すべきではないと考えるが、市長の考えは。

**市長** 職員の方でも見回りをしているが、地域の皆さんと連携し、適切な子どもたちの広

ていかなければならないと考えている。桜井市の空き家バンクでは、市内の空き家をホームページに掲載し、所有者と利活用希望者をマッチングする仕組みで、昨年9月に開設した。これまでに7件の空き家登録があり、3件が成約になっている。

**土家** 人口減少は行政運営に大きな影響を与えてくる。すぐに効果のある空き家対策をもっと積極的に取り組むべきではないか。

移住・定住における施策の仕組みをわかりやすいように情報発信していく必要がある。

**市長** 桜井市をもっと知ってもらう情報発信に努めるとともに、担当課が外部に対してわかりやすくなるよう、検討していきたい。

**土家** 安全確保のため、全施設を総点検するような機会を設けてはどうか。また少子高齢化の中で市の行財政改革アクションプランでは児童公園などについては、閉鎖や地元管理になっている。今後これを見直す考えはないか。

**市長** 今年度、総点検していきたい。またアクションプランを引き継ぐ中で、利用の少ない施設は不要箇所として閉鎖を目指していくが、子どもの利用が多い施設は必要ではなく、維持していきたいと考えている。



老朽化が進む市内の児童公園では使用不可の措置が取られているところも

## インバウンド施策 観光客誘致合戦活発化

市民の皆さまには、日ごろから土家の議会活動に対し、格別のご支援とご理解を賜り、厚く御礼申し上げます。

最近、奈良市内では多くの外国人観光客で溢れ返っていますが、桜井市では外国人の方を見かける機会は多くありません。市議会6月定例会で土家は、インバウンド施策について取り上げさせていただきました。

東京オリンピックへ向け、観光需要が高まる中、自治体の観光客誘致合戦は活発化しています。国のまほろばの地へ各国の観光客が訪れ、その素晴らしさに触れていただくとともに、市内のさまざまな業種で経済が潤うことを期待しています。

暑い日が続きます。市民の皆さまには、健康に十分留意していただきますよう、お願い申し上げます。

(土家靖起後援会会長・勾田義浩)

## つちや靖起



**現職**  
 桜井市議会議員  
 桜井市ソフトボール協会顧問  
 戒重区顧問  
 桜井西地区社会福祉協議会会長  
 NPO法人理事  
 奈良県市町村職員年金者連盟桜井支部長

**主な経歴**  
 桜井市市長公室長  
 平成15年桜井市議選初当選  
 平成19年桜井市議選2選  
 平成23年桜井市議選3選  
 平成24年桜井市議選議長  
 平成27年桜井市議選4選

市政に対する要望・ご意見・ご提言をお寄せ下さい。

メール tuchiya@seikatubunka.jp

633-0064 桜井市戒重57 電話0744・43・9288

「ごあいさつなどは議員活動を優先させて頂きますため、略させて頂きますが、市民の皆様にはご了承の程、よろしくお願い申し上げます。」